

招 集 期 日	令 和 6 年 10 月 9 日 (水)		会議の場所	301 会議室
会議の時刻 及び宣告者	開会の時刻	午後 1 時 30 分	開 会 者	教 育 長
	閉会の時刻	午後 2 時 30 分	閉 会 者	教 育 長
委 員 出 席 状 況				
氏 名	摘 要	氏 名	摘 要	
秋 本 文 子 教 育 長	出 席	平 野 博 之 委 員	出 席	
柿沼拓弥教育長職務代理者	出 席	駒 澤 幸 浩 委 員	出 席	
田 村 和 代 委 員	出 席			
議 事 参 与 者 及 び 説明のための出席者	橋本学校教育部長	新井生涯学習部長	米花教育総務課長	蓮見学校教育課長
	亀村学校給食センター所長	佐藤生涯学習課長	根岸スポーツ振興課長	阿久津図書館長兼郷土資料館長
書 記 名	教育総務課総務係 平川			傍聴人 1 名
会議事件名	て ん 末			
開 会 日程第 1 再任委員の紹介	教育総務課長	本日、1 名の傍聴人がある。		
	教育長	傍聴人の入室を許可する。 (傍聴人 入室)		
	教育長	10 月定例教育委員会を開会		
	教育長	教育委員会の会議は公開が原則となっているが、人事に関する案件等について出席委員の 3 分の 2 以上の多数で議決した場合は非公開とすることができる。本日の日程の中で非公開とすべき案件はないため、全て公開としてよろしいか。 異議なしの声あり		
教育長	去る 9 月 30 日をもって任期が満了した田村委員は、9 月 24 日に市議会の同意を得て、10 月 1 日付けで市長から任命され再任された。			

会議事件名	て ん 末	
<p>日程第2 前回会議録の承認</p> <p>日程第3 報告事項1 令和6年度9月定例市議会提出(教育委員会関係)議案等について</p>	<p>田村委員</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>教育長</p> <p>学校教育部長</p>	<p>(田村委員あいさつ)</p> <p>9月定例教育委員会の会議録について諮った。</p> <p>異議なしの声あり</p> <p>前回会議録は、承認された旨宣した。</p> <p>報告事項1について、学校教育部長及び生涯学習部長から説明を求めた。</p> <p>中島直樹議員の議案質疑において「学校再編成に伴う交流事業についてどのように捉えているか」について答弁した。学校再編成に伴う交流事業の目的、交流事業の実施内容、交流した授業や行事の際の児童の様子、保護者からの意見、事業の説明を述べ、令和5年度の交流事業は、意義のある事業であったと認識していることについて答弁した。</p> <p>中島直樹議員の議案質疑、「学校図書館への新聞複数紙配備」について答弁した。本市の学校図書館においては、小学校2紙、中学校3紙の新聞を配備している。新聞配備による教育的な効果についての質問に答弁し、学校図書館における複数の新聞配備は、意義があるという認識から今後も継続する意向であると答弁した。</p> <p>増田敏雄議員の一般質問、「羽生市におけるインクルーシブ教育を受ける権利と特別支援学級の運営方針について」答弁した。市の教育行政重点施策の一つに「インクルーシブ教育システムの構築による教育の推進」を掲げ、その構築のために取り組んでいることについて述べた。次に、質問の1点目「特別支援学級の現状と課題について」、特別支援学級の現状、本市においても文部科学省や県の通知を受け、令和4年5月13日付け通知「特別支援学級及び通級による指導の適切な運用について」を発出し、周知していることについて述べた。特別支援学級の課題に</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>について答弁した。質問の2点目「インクルーシブ教育の現状と課題について」、インクルーシブ教育システムの構築、本市では、通級指導教室を市内4校、計5教室を設置していること、特別支援学級や通級指導教室の入級、課題についてそれぞれ答弁した。質問の3点目「インクルーシブ教育の推進に向けての取組について」は、インクルーシブ教育を推進していくためのこと、就学先の決定についてそれぞれ答弁し、今後もインクルーシブ教育システムの構築に努めることについて答弁した。</p> <p>斎藤万紀子議員の一般質問、「羽生市の給食に関する取組」について答弁した。1点目は「給食費について」で、「今年度の無償化」についてと、「今後の方針」について質問があり、現在、物価高騰等による増額分は市が補填していることについて、市教育委員会としては、学校給食費の値上げは行わず、据置きとしたいと考えていることについて答弁した。質問の2点目「地産地消の給食の推進」について、「これまでの取組と令和5年度の地産地消率」について、「推進のための今後の取組」について質問があった。今後の取組として、学校給食センター、生産者との継続的な供給体制を確保するために、学校給食の地場産物利用の方針、基準等をあらかじめ明確に示す枠組を構築することで、地場産物の利用促進に努めることについて答弁した。</p> <p>次に、質問の3点目「食べ残しを減らすため」について、「現状に関する羽生市の考えと残渣量の把握」について、「食べ残しを減らすための取組と給食時間の確保」について質問があり、食べ残しを減らす取組を述べ、少しでも減らすことができるように啓発等に努めることについて答弁した。</p> <p>田口さとの議員の一般質問、「市内小・中学校における外国人クラスの設置」について答弁した。初めに、「全ての外国人も含む児童生徒を、地域的な理由で同じ教室内で同じ授業を受けさせ、同じように理解させるのは限界ではないだろうか。」について、「小・中学校で習得すべき教科に理解がなされないままに、次のステップに進めてしまうのは、教育をつかさどる行政としてはいかがなものか。」について、「学区とは関係なく希望者は外国人クラスのある学校に行けるようにして、それぞれの児童生徒に合った教育、先生をそろえてあげるべきではないか」について、「ある程度、宗教・言語・日本語の習得具合によって、まとまった対応をすることも検討すべきではないでしょうか。」</p>

会議事件名	て ん 末	
	生涯学習部長	<p>について、さらに、「もし、何か所かの学校に集約することが困難であれば、例えば、各小・中学校における特別支援学級のような、学年の隔たりなく特に言葉の関係で授業に出るのが難しいときに限り、向かうことのできるクラスを作るとかもできないでしょうか」について、本市が取り組んでいる具体的な支援について質問があり、今後も日本語指導教員のさらなる増員を要請し、日本語指導の充実に努めることについて答弁した。</p> <p>丑久保恒行議員の一般質問、「小・中学校における熱中症対策の現状とガイドラインの作成」について、今年度と昨年度の部活動における熱中症による救急搬送の件数について、「小・中学校における熱中症対策の現状」について、熱中症事故を防止するための具体的な手立てについて、各種活動実施に関する判断について、「小・中学校における熱中症についてのガイドラインの作成」について質問があり、今後も羽生市では、県教育委員会のガイドラインに準じて熱中症対策を実施し、熱中症事故防止対策を万全に期すよう学校に対して指導することについて答弁した。</p> <p>丑久保恒行議員の一般質問 2 項目目、「学校再編成計画について」、質問の 1 点目「東中学校区の小学校の再編成を行っての地元等からの声と中間総括について」答弁した。続いて、令和 3 年 5 月に、当時の羽生市立学校適正規模審議会長宛てに新郷地区の 14 自治会長と議員の連名で要望書が提出されていることについて、答弁した。質問の 2 点目「西・南中学校区の小学校の再編成にあたっての基本的な考え方」について、「羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針」における学校再編成の基本的な考え方について、それぞれ答弁した。次に、質問の 3 点目「西・南中学校区の小学校の再編成計画の検討状況と今後のスケジュールについて」質問があり、検討状況を述べ、市教育委員会としましては、「羽生市立小中学校適正規模・適正配置に関する基本方針」に基づき、令和 6 年度末までの基本方針の策定を目指してまいりたいと答弁した。</p> <p>中島議員からの議案質疑についてである。NHK 連続テレビ小説「らんまん」に絡めたPRについて、市が実施したPR事業及びその成果について答弁した。「らんまん」はムジナモを国内で初めて発見した牧野富太郎博士をモデルとして、その生涯を描い</p>

会議事件名	て ん 末
	<p>た NHK 連続テレビ小説であり、羽生市には国指定天然記念物、宝蔵寺沼ムジナモ自生地があることから、「らんまん」のテレビ放送について、ムジナモ及び羽生市をPRするチャンスと捉え、事業を展開したものである。令和5年5月からは羽生市役所など市内14か所において、文化財パネル展「ムジナモと牧野富太郎」を実施した。5月13日には、羽生市産業文化ホールにおいて、「ムジナモと牧野富太郎の植物標本」をテーマとした講座を開催したところ、270人もの参加があった。7月22日には、同文化ホールにて牧野富太郎の植物研究と生涯をテーマとした講演会を開催したところ、5月の講座を上回る330人もの参加があった。「らんまん」の放送回が進むにつれて、ムジナモへの関心が盛り上がっていったものと思われる。令和5年7月5日から7回開催したムジナモ自生地見学会では、延べ180人の参加、前年度から約100人の増加となり、遠方からの参加者も見られた。見学会への参加者が前年度に比べ約100人も増えたことや、講演会への参加者が数百人もあったことについては、「らんまん」に絡めた本市のPR事業の成果と捉えていること、今後とも、羽生市の知名度向上及び地域活性化のため力を尽くす決意を申し述べ、答弁とした。</p> <p>柳沢議員からの議案質疑についてである。新スポーツイベント実行委員会補助金150万円、新スポーツイベントの開催について、3点の質問があり、次のとおり答弁した。この新スポーツイベントはにゅうスポ・レクフェスタは、誰もが気軽に参加でき、楽しめる体験型スポーツレクリエーションイベントとして初開催したと最初に開催趣旨を申し述べた。1点目の質問、来場者数については、あいにくの雨天にもかかわらず、約700名もの来場者があったことを答弁した。2点目の質問、費用内訳については、ポスターリーフレット印刷費約13万円、スタンプラリー参加者への商品代等約25万円、講演等していただいたゲストへの謝金約75万円。体験ブース出展団体への運営助成金34万円など、具体的な用途及び金額について答弁した。3点目の質問、事業効果については、来場者へのアンケート結果では、90%以上の方から「面白かった」「また来たい」との回答を得たことから、多くの皆様にスポーツに興味をもってもらえたことができたこと、また、スタンプラリーの傾向から、市内で様々なスポーツレクリエーション団体が活動していることを知って</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>報告事項2 羽生市公民館長退任者への感謝状贈呈について</p>	教育長	<p>いただく機会を提供できたことを申し述べ、今後もイベントの充実を目指していく決意を表明し、答弁とした。</p> <p>報告事項2について、生涯学習課長の説明を求めた。</p>
	生涯学習課長	<p>公民館の館長として、生涯学習の推進と地域文化の振興に御尽力いただいた功績に対し、羽生市教育委員会表彰規程第2条第1号の規定に基づき、感謝状を贈呈するものである。被表彰者は、9月30日をもって岩瀬公民館長を退任された川田房雄様である。在任期間は3年6か月だった。</p>
<p>報告事項3 エンジョイDAY・チャレンジtheスポーツ2024の結果について</p>	教育長	<p>報告事項3、4について、スポーツ振興課長の説明を求めた。</p>
	スポーツ振興課長	<p>この事業は、市体育館等指定管理者と連携し、スポーツ体験会やスポーツ施設の無料開放、体力測定等を実施することで施設の認知度向上と市民の健康体力づくりへの意識の向上を図るものである。9月8日（日）に市体育館にて開催し、延べ330名の皆様に御来場いただいた。内容としては、指定管理者事業、エンジョイDAYとして、3種目のスポーツ体験会やメインアリーナ、サブアリーナなどの施設の無料開放、スポーツ振興課事業としてチャレンジtheスポーツの中で、体力測定、健康測定やニュースポーツ体験を実施した。エンジョイDAYでは、指定管理者独自のPRにより前年度より多くの参加者を得ることができ、市体育館等の認知度向上を図ることができた。チャレンジtheスポーツでは、体力測定の受付時間を9時から30分間と明確にすることで、参加者の待ち時間を短縮でき、運営の改善につながった。また、体力測定の参加者が前年度より減少してしまったため、次回開催に向け関係団体と一層の連携を図り、参加者の確保につなげたいと考えている。</p>
<p>報告事項4 令和6年度ニュース</p>	スポーツ振興課長	<p>この事業は、市民が生涯にわたってスポーツに親しむことができるようスポーツ推進委員が各地区に出向き、気軽に楽しみ</p>

会議事件名	て ん 末	
<p>スポーツ出前教室の開催について</p>	<p>教育長</p>	<p>るニュースポーツ、ユニバーサルスポーツを中心とした教室を開催するものである。地区ごとの開催日時や会場等については、令和6年度ニュースポーツ出前教室計画のとおりである。今年度は、バグジー、ラダーゲッター、ヘルスバレーボールの3種目を実施する。地区ごとの連携を図り、より参加しやすくするため、一部の地区が合同で実施する形をとっている。参加料は無料である。</p> <p>報告事項5について、図書館長兼郷土資料館長の説明を求めた。</p>
<p>報告事項5 リサイクルフェアの実施について</p>	<p>図書館長兼郷土資料館長</p>	<p>図書館で除籍された本や雑誌などを再度有効活用するため、希望者に無償譲渡するものである。市の公共施設を対象として令和6年12月19日(木)に開催し、12月20日(金)から12月22日(日)を市民の方を対象として開催する。時間は午前9時から午後4時まで、会場については、図書館に併設の郷土資料館展示室を利用する。市の公共施設、公民館、学校等については、冊数の制限は設けない。市民の方については、一人10冊まで持ち帰りができる。周知方法については市の広報、図書館、市のホームページを活用する。</p>
<p>報告事項6 その他</p>	<p>教育長 学校教育課長</p>	<p>その他の報告を求めた。</p> <p>9月と10月の表彰等の結果についてである。</p> <p>第63回全日本学校歯科保健優良校表彰において、羽生市立新郷第一小学校が文部科学大臣賞に決定した。表彰式は、10月17日(木)に長崎県で行われる。令和6年度埼玉県学校環境緑化コンクールにおいて、羽生市立岩瀬小学校が優秀校に選ばれた。本コンクールで一番高い賞が、こちらの優秀校である。その優秀校4校の1校に選出された。なお、優秀校4校のうち1校が、全日本学校関係緑化コンクールに推薦となるが、今年度は、川口市立安行小学校が推薦されている。昨年度は、羽生市立羽生</p>

会議事件名	て ん 末	
		<p>南小学校が全日本学校関係緑化コンクールに推薦となり、「文部科学大臣賞・日本放送協会会長賞」を受賞していることを申し添える。第21回児童絵画作品コンクールにおいて、羽生市立村君小学校6年生の絵が、高学年の部において、国土交通省関東運輸局埼玉運輸支局長賞を受賞した。10月7日の埼玉新聞に、作品も掲載されたところである。</p> <p>次に、埼玉大学教育学部との連携協定についてである。</p> <p>10月28日(月)に埼玉大学教育学部と羽生市教育委員会で協力関係協定を結ぶ予定となっている。これまでは、埼玉大学教育学部附属小・中学校との協定を結び、指導者派遣等様々な連携を行ってきたが、今後は、教員養成や教員研修、教育上の諸課題への対応に関する事項などさらに幅広く連携を実施する。</p> <p>10月27日(日)から行う図書館・郷土資料館ふれ藍まつり及び同日に開催する郷土資料館ふるさと講座のチラシを配布した。9月定例教育委員会で開催の報告をしたものである。</p> <p>報告事項に関し、意見・質問を求めた。</p> <p>特別支援学級の対象児童が、およそ5%近くいるというのは改めて多いと実感した。やはりそれぞれ多種多様な障がい等の事情があるので、理想としては、一人一人に応じた教育を行いたい。が、実際は人にも時間にも限りがあり、先生たちにはその中で頑張ってもらいたい。約5%というのは、20人いれば一人いることになる。かなり小規模なところであってもある程度人数がいて、多種多様ということになると、個々に応じた教育は不可能である。今回小学校が再編成されるが、いろいろな方法を考えて、効率良く対応していけるように今後検討していただければと思う。</p> <p>議会で報告した4.8%については特別支援学級に在籍している児童生徒の割合のため、インクルーシブの視点から通常学級に在籍している潜在的な特別な支援が必要な児童生徒数を入れ</p>
	図書館長兼郷土資料館長	
	教育長	
	平野委員	
	学校教育課長	

会議事件名	て ん 末	
	<p>田村委員</p>	<p>ると、その割合はさらに膨らむと考えられる。その中で、御指摘にあったように、そうした子どもたちが同じ教育の場でより良い支援を受けられるように、例えばユニバーサルデザインの視点から、教室環境を整えたり、教員の指示についても、一度に複数指示を与えてしまうと混乱してしまう子もいるので、短い指示に区切ったりしている。特別支援教育の視点での教育方法について、特別支援学級の担任に限ったものではなく、通常学級の担任も含めて、教員の指導力の向上を図っているところである。引き続き推進してまいりたい。</p> <p>ニュースポーツ出前教室、チャレンジ the スポーツについてである。私もスポーツ推進委員の立場からいろいろ考えたことがある。今月 20 日に行われるはにゅうスポ・レクフェスタに参加するスポーツ推進委員の中には、小学校体育連盟と中学校体育連盟の先生が 1 名ずつ加わっていただいている。近隣市では羽生市だけだと思うが、昨年のはにゅうスポ・レクフェスタにおいては 700 人の参加人数のうち、子どもたちがとても多かった。先生方から積極的な参加を促していただいたということで、協力的でとてもありがたいと思う。今後、ニュースポーツ出前教室においては、小学校を利用することが多い。小学校の先生から子どもたちと保護者に積極的な案内をしていただいていることと、フロアカーリングでは、中学校体育連盟の先生から促していただいて中学校の生徒に参加していただいているので、とても助かっているところである。スポーツ推進委員には女性が 9 名おり、ほとんどの女性が子育てを終わった世代である。子育てが終わった世代でないとなかなか協力的なことができない。今いろいろ世間で騒がれている闇バイトなどの問題もあり、幼い頃からの教育がとても重要だと思う。子どもたちの横のつながりや縦のつながりは、これから社会を作っていく上で大切なことだと思う。今後ともスポーツ推進委員の小学校体育連盟、中学校体育連盟の先生には協力をしていただきたいと思います。</p> <p>スポーツ振興課長</p> <p>羽生市のスポーツ推進委員には小学校体育連盟と中学校体育連盟から 1 名ずつ先生に入っていただいている。事業を開催する上で小学校体育連盟と中学校体育連盟の先生が学校とのつながりとなることで、学校との連携が図られてイベントの参加者が</p>

会議事件名	て ん 末	
	柿沼委員	<p>増えている現状があると思う。また、女性の委員も含めて、やはり生涯スポーツ事業の全てのイベントにおいてスポーツ推進委員の皆さんの関わりというのは、なくてはならないものだとスポーツ振興課も教育委員会としても考えている。今後も皆様と連携を図りながら、より一層スポーツの推進をしまいたい。</p>
	教育総務課長	<p>丑久保恒行議員の学校再編制計画について伺いたい。新郷第一小学校を小規模特認校として残すことについて、詳しく教えていただければと思う。</p> <p>東中学校区の再編成により、現在市内で唯一の小規模特認校である村君小学校が廃校となる。これにより市内に小規模特認校がなくなってしまう。この小規模特認校は、保護者の希望により、大人数の学校にはなじめない子どもたちが通うことができる学校である。そういった学校が市内からなくなってしまうと、現在国で進めている学びの多様化に対応するには柔軟性に欠けるのではないかと、市内にこういった学校があった方がよいのではないかとという意見が、羽生市立学校適正規模審議会の中で出た。その上で西・南中学校区の協議が進められ、案を検討するに当たり、施設の規模からクラス数がどれだけ配置できるかを見ると、新郷第一小学校が1学年で2クラス収容できるだけの施設を有していることから、新郷第一小学校を候補とし、小規模特認校として残す道筋を残しておいてもよいのではないかとということで、案として残っている状況である。</p>
	教育長	<p>会議の中でそういった案が出てきた。村君小学校が再編成され、閉校するので、保護者の希望により、大規模校では合わない子を受け入れる場ができるということである。</p>
	柿沼委員	<p>総合教育会議でも同じような質問があったと思う。新郷第一小学校は、1年生が11名でスタートした。1名転校し、今は10名である。内訳は男子が7名、女子が3名である。基本方針に、全ての小学校でクラス替えが可能な規模となるよう再編成を行うこととすると書いてあるので、なるべく早くできればと思う。コミュニケーションを上手に取れば良いと思うが、女子3名</p>

会議事件名	て ん 末	
	駒澤委員	<p>で上手に取れない場合心配である。保護者にこのような学校で良いのかと不安があれば、申し訳ない。保護者の不安を取り除くようにしていただければと思う。</p> <p>中島直樹議員から質問されている内容についてである。「らんまん」に絡めたPR、学校再編成に伴う交流事業、学校図書館への新聞の複数紙配備については、どれもバラバラのように見えても、おそらく言われたいのは、コストをかけた分の見返りがあるかどうかかと思う。それに対する答弁がしっかりとされているので大きな問題にはならないと考えているが、何においてもコストの意識を持つことはすごく大事だと思う。教育の関係などはすぐに答えが出ないと思うが、どうしてもお金をかけなければいけないところ、もしくは現状と合っていないところをしっかりと見極めていただくことが必要だと思う。答弁にあつたとおり、今後もある一定の期間での見返りをしっかりと図っていただければと思う。</p> <p>斎藤万紀子議員の質問の羽生市の給食に関する取組のうち、給食費の完全無償化についてである。現状だと受益者負担になっているので無償化は考えていないという答弁をされている。もちろん財政上の問題等があると思うが、仮に完全無償化を図っていくとしたら、何か手立てがあるのか。例えば、どこからか予算が捻出できる状況があるのか、もしくは今後も無償化に関して羽生市では非常に厳しい状況にあるのか、分かる範囲でお答えいただければと思う。</p>
	学校給食センター所長	<p>現在、給食に係る費用のうち、物価高騰分を市の財源で補っている。保護者の費用負担は、現在約1億8千万円である。その分を予算から捻出することは、やはり他の費用で扶助費などが増大している関係もあり、かなり難しい状況であると考えている。</p>
	駒澤委員	<p>現実的なところを言えばおそらく完全無償化は、この地域で進めていくことは難しいと思っている。物価高騰はどのような業界、業種でも影響を受けていることだと思う。加えて国でも賃上げの議論が同時に出ている。保護者の方の費用負担を一度見直すのには、おそらく今が良い機会だろうと思っている。財</p>

会議事件名	て ん 末	
	学校給食センター所長	<p>政的に苦しい部分等があるようであれば、今の時点で見直しを図っていかないと、なかなかこの先のタイミングでは難しいと思う。そのようなコストに関する部分は、しっかり見直しを図っていただきたい。</p>
	駒澤委員	<p>総務省の今年度の調査では、物価指数が14%から17%上昇しており、やはり物価高騰が著しい伸びを示している。委託料に関してもその労務費の単価が何倍にも上がる状況であれば、協議をする必要があると思う。その時には関係各所と協議を図りながら進めたい。</p>
	教育長	<p>ここにも書かれているとおり、現状の物価高騰等の増額分は市が補填してくれていて非常にありがたい。こういったことは保護者の方にも見えるようにしていくとこれだけ努力していることが知っていただけるようになると思う。そのようなPRなども今後進めていただければと思う。</p>
	平野委員	<p>そういったことも紹介していきたいと思う。また国からの交付金がある場合には積極的に活用して、可能な範囲で給食費の無償化を実現できれば良いということは考えており、答弁しているところである。</p>
	学校教育課長	<p>丑久保恒行議員の熱中症対策の質問についてである。気温が非常に高い日が続いて、今後もその傾向が続くと思うが、7月と9月の体育の授業が、実際どのくらいできなくなってしまっているのか。これからもっとひどくなるとしたら、どのような対策が考えられるのか。例えば、夏場の7月と9月は体育の時間を減らして他の教科をするなど、そのようなことが可能なのかどうか。またこれはもっと大きな話で、できれば働きかけをしていただきたいが、体育館で運動ができるように、体育館のエアコンの設置を検討してほしい。エアコンについては今後やってほしいという希望があるが、災害時の利用シーンも含め、学校の夏場の体育に関し、現在すぐにできることとして何か考えていることがあれば教えていただきたい。</p>
		<p>御質問の前半部分についてである。まず、回数については学</p>

会議事件名	て ん 末	
	<p data-bbox="483 1193 619 1227">教育総務課長</p> <p data-bbox="483 1865 571 1899">教育長</p>	<p data-bbox="638 286 1433 1131">校の立地条件や学校によって様々に変わるため、具体的に何回体育が休みになって何回実施したかという詳細までは把握できていない。しかし、こちらで聞いている情報としては、なるべく気温が上がる前の午前中朝早い時間に体育の時間を移動して体育の授業を行ったり、また部活動も同様に夏休みや土日の時間を早めて行ったりというような工夫の下に、なるべく授業回数が減らないようにしている。その一方で、昼休みなどはどうしても気温が上がってしまうので、1週間以上昼休みに外遊びができない状態もある。久しぶりに外に出た子どもたちが嬉しそうに出ていく姿などはこちらも見かけているが、なかなか日中の体育及び外運動は実施が難しいと考えている。また、適度な休憩、多くの水分補給の休憩を取らせながら、工夫して可能な限り様々な活動を実施している。体育の授業を時期をずらして実施できるかという部分については、授業をずらしても年間を通して学習指導要領の内容をクリアできれば良いことにはなっている。しかし、1学期中に行う体育の目安や、その時にしかできないものなどもあるため、極力、大きく他の時期にはずれ込まないように工夫しながらやってもらっている。</p> <p data-bbox="638 1193 1433 1753">体育館のエアコン設置についてである。最近の夏の暑さは災害級ということで、なかなか厳しい状況にあると承知している。現在羽生市内の小・中学校のエアコン設置状況は、普通教室については、全て設置し、中学校については、特別教室にも設置している。小学校の特別教室は現在設置していないが、今後予算措置をし、子どもたちがなるべく多くの時間を過ごすところからエアコンの設置を進めていく。体育館については指摘のとおり避難所の機能もあるため、教育委員会として学校の施設として使うことと市の行政として避難施設で使うことがあるため、市の担当課である地域振興課と協議しながら進めていけばと考えている。また市体育館については、これに先行して設置できないかということで、現在検討を始めている。</p> <p data-bbox="667 1865 1101 1899">報告事項については、よろしいか。</p>

会議事件名	て ん 末	
閉 会	<p>教育長</p> <p>教育総務課長</p> <p>教育長</p>	<p>異議なしの声あり</p> <p>次回教育委員会日程について、事務局より説明の旨。</p> <p>11月定例教育委員会は、11月13日午後1時30分より、学校給食センター会議室にて開催する。</p> <p>閉会を宣した。</p> <p>教育長 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>委 員 _____</p> <p>書 記 _____</p>